

オフィス部門でのエコ活動

製品の研究開発や生産部門の活動に比べて、オフィス部門での環境活動は地道なものが中心になりますが、コーセーでは社員一人一人が常に意識を持って、日常的なエコ活動に取り組むことを基本としています。2002年度もオフィスで使用する事務用品等のグリーン購入の拡大、複写機等の事務機器の省電力製品への切り替え促進、分別ボックスの設置による一般廃棄物の分別収集の徹底、ECO MASTER(定流量弁)採用による節水、消灯による節電、エアコンの温度設定などの活動を展開しています。

グリーン購入の拡大

コーセーでは全事業所で、コピー用紙やプリンター用紙等日常業務で使用する紙は全て再生紙を使っています。その他、ノートや事務用封筒、筆記用具など事務用品の購入、名刺等の購入にあたってグリーン購入を促進しています。

現在、グリーン購入に切り替えた事務用品はボールペン、サインペン、蛍光ペン、鉛筆などの筆記用具からファイル、ノート類、消しゴム、付箋紙、のり、スタンプ台、のし袋など前年度の43種から倍近くの81種に拡大させています。

もちろん、定期的に「グリーン購入ネットワーク」から情報を収集していますし、業者の協力を得てエコマークやグリーンマークの付いた事務用品をまとめて紹介したカタログ『グリーンブック』を作成し、全部署に配布してグリーン購入の普及に努めています。

コピー用紙や封筒の複数回使用

オフィスで毎日のように大量に廃棄されるのがコピー用紙と事務用封筒です。コピー用紙はコピーの失敗、不要となった資料など、オフィスでゴミ箱をいっぱいにするのがこの不要となったコピー用紙です。最近ではパソコンからのプリントアウト用紙の廃棄も増えていますが、コーセーではこれらの紙類を分別収集するのはもちろんですが、裏面が利用可能なものはペーパーリサイクルボックスなどに保管しておき、ファックス受信や連絡文書等のコピーに活用しています。

事務用封筒に関しては、社内連絡用に使用するものは使用済みのものを再使用することを基本としています。また、表に宛先と発送元を記入する用紙を貼って、繰り返し活用しています。

このような活動は以前から個人的な工夫として行われていましたが、現在では全社的に普及させるために啓蒙活動を行っています。



ペーパーレスの文書管理システムを採用

コーセーでは現在、全社員に対してグループウェアと呼ばれるコンピュータネットワークシステムを導入していますが、日常的な電子メールによる連絡はもちろん、文書管理や各種の届け出、社内連絡文書、交通費等の清算などもシステム上で運用できるので、大幅なペーパーレス化につながっています。特に文書管理では活用したいデータや閲覧したい文書、社内回覧文書から個人あての連絡文書等まで全てを社員個人がコンピューター端末からアクセスするシステムとなっています。

節電の拡大

節電は人の意識によるところが大きいのですが、コーセーでは全社的に活動の拡大をはかっています。実施の方法は事業所ごとの事情に即して実施されますが、離席時のパソコン電源、使っていない会議や普段人のいない部屋、トイレなどはそのたびに電源スイッチをこまめに入れたり切ったりしています。

また、エアコンによる温度調節は、従来はオフィス全体を一元管理していたためフロア全体で調節していましたが、新設オフィスはもちろん、それ以外のオフィスも改装を機にブロック単位でエアコンの温度調節が可能な設備を導入し、必要に応じた温度管理で節電効果を高めるよう努めています。特に電力消費が集中する夏のエアコンの温度設定を通常より1~2度高めにして節電に努めています。

その他、コピー機等のOA機器も節電タイプへの切り替えを実施しています。

